

# SAPIENTIA



2007年4月10日 学内風景

## CONTENTS

- |   |  |
|---|--|
| 1-2. 卒業式                                  | 16..... 英知大学図書館                            |
| 3-4. 入学式                                  | 17..... 第36回カトリック研究講座                      |
| 5-6. 新任教職員の紹介                             | 18..... Microsoft Office Specialist資格取得講座  |
| 7-10. 学生支援室特集                             | 19..... メイクアップセミナー                         |
| 11..... クラブ紹介                             | 20..... 尼崎市国際交流協会<br>日本語スピーチコンテスト          |
| 12..... 第20回英知大学英语<br>スピーチコンテスト           | 21..... 英知大学留学生フォーラム                       |
| 13..... STU CALLワークショップ/<br>ビジネス日本語クラスの開講 | 22..... 人事異動                               |
| 14..... 言語教育実践報告・研究発表会                    | 23..... 今道先生和辻文化賞ご受賞/<br>Cum Amoreフットサル大会/ |
| 15..... 地域の皆様へ                            |  |



## ご卒業おめでとうございます。

皆さんが英知大学に新入生として入って来られたのは、ちょうどアメリカ合衆国と英国がイラク侵攻作戦を始めた直後でした。国会は、日本そのものが戦場となる事態を想定して有事関連の三つの法律を成立させ、外務省の方たちがイラクで殺され、戦後はじめて自衛隊が戦闘地域に派遣されることが決まった年でもありました。

皆さんの大学生活の間には、津波で12カ国の15万人もの「いのち」を奪ったスマトラ島沖の大地震があり、死者107名、負傷者460名を出したJR福知山線脱線事故もありました。そういうニュースに接することで、きっと高校時代とは比べものにならないほど、平和やいのちの大切さを意識し、生きる意味や「死」というものを見つめさせられたのではないかと思います。

さまざまな出会いによって得たものもあるでしょうし、失ったものもあったことでしょう。歯を食いしばり涙をこらえたことも、一度や二度ではなかったかもしれません。うれしかったこと、つらかったこと、どれ一つとして無意味なものはないはず。それら一つひとつの体験が今の皆さんを形作っているのです。英知大学在学中に、人間として、大きく成長されたことを心よりお喜び申し上げます。

これから皆さんは、大学を卒業して社会人になります。社会を構成する一員として責任を担って生きる者になります。自分の足で歩き始めることへの不安を抱えながらも、大きな期待に胸をふくらませておられることでしょう。社会に飛び立とうとしておられる皆様へのはなむけとして、少しお話させていただきたいと思います。

今年1月、ペコちゃんで有名な不二家が、期限切れ原材料を使用していたことを隠していたことが明るみに出て、製造・販売停止に追い込まれたことは、皆さんもよくご存じでしょう。社長交代、本社ビル売却だけでもすまず、山崎製パンのグループ会社の一つになってしまうようです。問題は、食物に対する安全対策というものを軽く見ていただけではなく、従業員から社長に至るまで、会社全体に倫理観が欠けていたことにありました。問題点が指摘されたときに、隠してごまかそうとしたことが、どうしようもないほど傷口を広げる結果につながってしまったのです。

3月15日には、志賀原子力発電所で核分裂が続く臨界状態になっていたことを、北陸電力が隠していた、ということが明らかになりました。検査中の操作ミスで核反応が始まり、原子炉のコントロールが効かなくなって臨界状態になってしまったというのです。1986年に起こったチェルノブイリ原子力発電所大爆発は、非常事態に備えて実験を行っていたときに起こったと言われています。11万人が移住させられ、元原子力発電所の周辺30キロメートルが立ち入り禁止になっているにもかかわらず、ロシア科学アカデミーによるとこの20年間におよそ4万人のいのちが放射能汚染によって奪われたといえます。志賀原子力発電所の場合、15分ほどで原子炉のコントロールを取り戻すことができ、爆発するような事態には至りませんでした。しかし問題は、これほど重大なことを隠し、国にも報告していなかったというところにあります。





人間とは孤独な存在ですが、同時に決して一人で生きることができない存在でもあります。他の人とのかかわりのなかで生きているので、私たちの判断や行動は、必ず他の人に影響を及ぼしていきます。

人間である限りだれでも、判断を誤ることがあり間違いを犯します。失敗しない人なんか存在しません。だからこそ、問題が起こったとき、どう対応するかが重要なのです。何をさておいても問題発生の原因を探り、二度と同じことが繰り返されないように、組織として対応していかなければならないのです。

失敗しない人なんか存在しないからといって、失敗や間違いを放置したり隠しておくと、失敗や間違いをなくすための対策を講じることができなくなります。その結果は、財産や組織、さらには多くの人のいのちや健康にまで、大きな影響を及ぼしてしまいます。一時的には、嘘をつき、ごまかすことができるかもしれませんが。しかし、嘘やごまかしは決して長続きするものではありません。長続きしないどころか、多くの人の人生を狂わせ、会社をつぶし、社会全体を歪ませてしまいかねないのです。

どうか、目先の利益にとらわれず、間違いや失敗があってもそれを隠蔽することなく、同じような間違いや失敗が繰り返されないようにするために、個人の限界や問題点を明らかにしていく勇気をもってください。いつか恥をかいたとしても、それがきっかけで限界のある個人の能力に頼らないですむような組織改善が図られるなら、社会の向上と、人々の幸せに貢献することになるでしょう。

先ほど聖書の中の「マタイによる福音書」6章の一部を朗読していただきました。キリストと呼ばれるイエスが「思い悩む必要はないよ」とやさしく語りかけてくださっている箇所です。思い悩まなくてもいいという理由は、皆さん自身も、皆さんと出会う人、かかわる人すべてが、とても価値ある存在だからなのです。交換できる歯車でも虫けらでもありません。皆さん一人ひとり、そして皆さんの回りに生きているすべての人が、とても重要で価値ある存在だということをどうか忘れないでください。

皆さんは、大学生活を通して、いろいろな知識を身につけてこられました。ばらばらに積み重ねてきた体験や知識をまとめあげ、それらを適切に使用する実践的な能力のことを「知恵」といいます。皆さんがこれから受け取る「卒業証書」「学位記」は、皆さんがこの大学で、人類の「英知」と結ばれる可能性をもったさまざまな知識を身につけたことを証明するものです。「大学を卒業する」というのは、これまで学んできた知識を、知恵によって生かしていく段階に入ることです。

どうか英知大学で学んだことに誇りをもち、それらの知識を社会で生かすために、勇気を持って社会に飛び出して行ってください。目先の出来事に躍らされることなく、広い視野で世界を眺め、取るべき行動をしっかりと選び取って行ってください。そのような一つひとつの積み重ねによって、学生時代に身につけた知識は、皆さんの人生を支え人類に貢献する知恵となっていくます。誠実に他者と関わり、社会に奉仕することによって、バラバラのように見える知識は知恵に変えられ、さらには人類全体の「英知」と結ばれるようになっていきます。

今年5月に英知大学の名前は聖トマス大学に変わりますが、この大学が皆さんの母校 *alma mater* であることに変わりはありません。毎年のホームカミングデーで、お会いできることを楽しみにしています。また、疲れたとき悩みが大きくなったときは、いつでも遠慮せずに帰ってきてください。大学の廊下やグラウンドを歩くだけでも、ほっとできるはずですよ。苦手だと思っていた先生でも、温かい兄貴・姉貴として皆さんを受け入れてくださることでしょう。

皆さん、お一人おひとりが、健康で、充実した人生を切りひらいていかれますことを心よりお祈りいたします。

学 長 小田武彦





## 保護者への 学長あいさつ

今日は、入学式においでくださり、本当にありがとうございました。私ども教職員一同、みなさまのお子さんとの出会い、ともに学ぶことを心から喜ぶと同時に、お子さん方一人ひとりが大学生活を有意義に過ごし、4年後には胸をはって社会に飛び出していかれるよう、最大限の努力を惜しまない決意しております。決意するだけではなく、個別・個人別に対応して、少数教育のメリットを最大限いかせるように、学校組織を改革し続けてもおります。

しかし、日本の社会の実情から考えると、保護者のみなさまのご協力が必要不可欠になってきているのも事実でございます。そこでお疲れのところ恐縮ですが、ご家族のみなさまに、ご理解をいただきたいこと、ご協力いただきたいことを少しお話しさせていただきたいと存じます。

厚生労働省や内閣府は、定職に就かず、アルバイトで生活している人をフリーターと定義していますが、その数は1991年のバブル期には約62万人であったのに、2003年には217万人に達しました。今年は求人が多いのでフリーター数が減るだろうと報道されていましたが、200万人近い数であることには変わりありません。

学校に行かず、アルバイトもせず、就職活動もせず、主婦（主夫）でもない NBET (Not in Employment, Education or Training) の数は2003年に64万人になったと報道されています。フリーターの417万人に比べれば小さく見えますが、問題としてはかなり深刻化しています。労働政策研究・研修機構は、ニートを「刹那を生きる」、「つながりを失う」、「立ちすくむ」、「自信を失う」、「機会を待つ」という5つの類型に分類していますが、2015年にはニートが109.3万人に達する可能性があるという予測も発表されています。

お子さまがフリーターを目指したり、NBETになったりすることを望んでおられる保護者はおられないと信じております。ただ、大学に入ったのだからもう大人だと考えたり、大人扱いしていると取り返しがつかなくなる時代に突入していることをご理解いただきたいのです。保護者のみなさまが18歳だったころとは、社会が大きく変わっております。

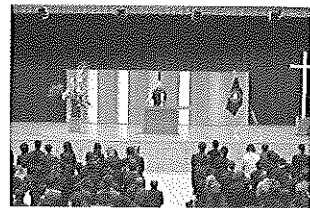
大手企業の青田刈りは社会倫理を踏み外し、就職内定を3年生のうちに出す企業が増加しています。ということは大学1年の時から自分の将来をしっかりと考え、2年の時にはどのような職業につきたいか、それはなぜかといった自分の考えを整理できないと、3年生になっても就職活動に踏み出せないということになってしまいます。

お子さまが4年間で大学を卒業し、フリーターにもNBETにもならず、社会人となることができるよう、ご協力をお願いいたします。少し具体的なお話しをさせていただきます。



1. お忙しいとは存じますが、何よりもまず、お子さまが、毎朝、朝食を確実に摂ることができるようにご配慮ください。ご存じのように、お子さまにとって魅力的なさまざまな情報が、とりわけ夜の間に飛び交っています。情報の嵐の中で放っておくと、夜行性人間となり、朝方になってから眠るという危険性が年々高くなってきています。試験勉強やレポート作成のために、たまたま夜中まで起きていたというのなら問題ありません。しかし、日常的に昼と夜が逆転してしまうと、通常の大学生活を続けることが不可能となってしまいます。欠席が続くので教員が心配になり、連絡をとってみると、学生が自力で昼型に戻せる状態ではなくなっていたにもかかわらず、家族はそのことにまったく気づいていなかった、といった事例が、全国で報告されております。そうなるからでは遅いのです。

また朝食を摂らない学生の集中力低下、学力低下は統計的にも指摘されております。朝起きて、朝食を必ず摂ることは、社会人となるための基本形です。どんなに夜更かしをしても、朝には必ず起き、食事をする。それもご家族と一緒に摂る。新しい友達との出会いや講義についてご家族に聞いてもらえる。そういう大学生活を過ごすことができれば、NEETになる確率を下げるができるといわれています。



2. 先ほども申しあげましたが、就職活動は、大学3年生のときにインターネットを使用して行わねばなりません。会社説明会への参加申し込みも、就職活動も、すべて希望会社のホームページから手続きをしなければなりません。会社側は、この手続きが上手にできるかどうかで、学生のパソコンの技量を判断します。これが就職活動の最初の分かれ目となります。つまりパソコンやインターネットを自在に使いこなせないと、筆記試験や面接試験を受けるところまでたどり着けません。

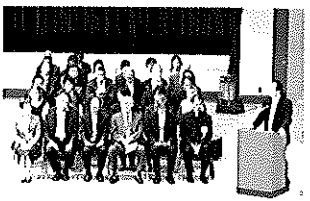
私どもの大学では、1年生の必修科目で、ワープロやエクセルの使い方だけでなく、Eメールの設定と添付ファイルをつけたメールの送受信などを、すべての学生が習得できるように指導しております。しかしこれは、ちょうど教習所で運転の仕方を学んだ程度にすぎません。実際にコンピューターを使用し続ける環境がなければ、ペーパードライバーになって運転できなくなってしまいます。そのようにならないよう、大学では、さまざまな科目において、インターネットを活用し、コンピューターでレポートを書くように指導しています。学内に、自習用パソコンを多数用意していますが、これを使って、時折、レポートを書いているようでは、ちょうど、たまにレンタカーを借りてクルマを運転するようなもので、実社会で通用する技能を身につけるほどにはなかなかありません。就職活動において、企業側からインターネットなどに習熟していると判断してもらえるようになるには、1年生の時から自分のパソコンを所有し、日常的に使用していく以外にありません。ご理解とご協力をお願いいたします。

また、本学では、経験が豊かで優秀なスタッフを就職課・キャリアサポートセンターに配置しております。お子さまご自身がまず、自分は何を望んでいるのか、自分は何者なのかに気づけるよう、『自分探しの旅』に出るお手伝いをしています。就職が内定する3年生まで待つのではなく、入学と同時に、キャリアサポートセンターに遊びに行き、常連となって、自分でキャリア・アップしていくように励ましてあげてくださいようお願いいたします。保護者の皆様をご相談に来られるのも大歓迎いたします。どうぞご遠慮なくキャリアサポートセンターをお訪ねください。



3. 私どもの大学では、保護者のみなさまが「後援会」を組織して下さっています。今年は5月27日に大阪NHKホール隣りの大阪歴史博物館をお借りして後援会総会を開きますので、ご予定にいられておいてくださいますようお願いいたします。本学の教員は、総会のような会議がなくとも、保護者のみなさまと、お子さまの学校生活や将来設計についてご相談させていただきたいと望んでおります。お子さまご自身は、大学に入ったのだから放っておいてほしいとおっしゃるかも知れません。しかし、古いことわざに「親の意見と冷や酒は後で効く」とある通り、冷静に物事を判断できる時が来れば、ご家族のかかわりがどれほど重要だったかに気づいてくれるはずで、多くのNEETと呼ばれる人々のように、社会との「つながりを失い」、「立ちすくみ」、「自信を失い」、「刹那を生きる」ようになってからではもう取り返しがつきません。お子さまが、大学を卒業し、就職して、社会人として旅立たれる日を目指して、教職員も総力を挙げて取り組みますので、保護者のみなさまも、お子さまの日々これまで以上に興味をもち、積極的にかかわってくださるよう心よりお願い申し上げます。

お気に召さないこと、あるいは失礼なことを申し上げていましたなら、どうぞお許しくださいようお願いいたします。どうかご遠慮なく、みなさまのご意見をお聞かせください。それこそ、みなさまのご苦勞をお聞かせいただけましたら、お子さまにとってふさわしいかかわりをもつこともできると思います。どうぞ、これから4年間、よろしくをお願いいたします。





# 新任教職員のご紹介



## 本多千明 人間学科 Chiaki HONDA

はじめまして。この度、教育学担当の教員として着任しました本多千明です。中学校から大学院まで、同志社で学んでいました。同志社の創設者、新島襄先生の言葉、「一人は大切なり」が座右の銘です。私は、これまで、小学校や高等学校、短期大学や大学で教壇に立ち、社会科教育や情報教育を担当しました。研究領域は、教科教育学です。研究内容は、社会科教科書の分析や、教材研究を行っております。英知大学のカリキュラムでは、教員免許状を取得することが可能です。将来、教員の職に就きたいと思っている学生は、是非、頑張って履修してほしいと思います。

英知大学では、多くの人々との出会いを大切に、研鑽を重ねてゆきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

## 鳥居一頼 人間学科 Kazuyori TORII

母は大阪東淀川区生まれ、父は樺太（サハリン）生まれの二人の子として、北海道に生まれ育った生粋の道産子（どさんこ）。この大学に来たのは必然で、鮭が生まれた川に戻るのを2世代かけて実現。専門は「福祉教育・ボランティア学習」。これからは、「むづかしいことをやさしく やさしいことをふかく ふかいことをおもしろく」を研究・実践の根っこにすえて、若い君たちのほとばしるエネルギーを奪い取り、生きる力に転化し熱く共に歩みたいと決意する。



## 池田 浩 人間学科 Hiroshi IKEDA



みなさま、はじめまして。4月1日付けで文学部に助教として着任しました池田と申します。佐賀県伊万里市の出身で、大学卒業後から本学に着任するまでは福岡に住んでいましたため、根っからの九州男児です。今回は初めて九州を離れて関西圏に住むことになり、新しい発見やみなさまとの出会いを楽しみにしております。

私の専門は、社会心理学で、主に「リーダーシップ」について研究してきました。最近では、リーダーが自信を獲得する心理メカニズムに関心を持っております。

最後になりましたが、皆様のご指導を賜りながら、本学の発展に貢献していきたいと願っております。どうぞよろしくお願い致します。

## 李 相済 人間学科 LEE Sang-jae

皆さま、初めまして。人間学科に着任致しました李 相済（リ・サンジェ）と申します。社会福祉関連科目を担当させていただきます。「社会的弱者」への慈悲的な援助といったイメージで捉えられがちであった従来の社会福祉から、「well-being」（健康で幸福な暮らし）を理念とする、誰もが一生を通じて心豊かに暮らせる新しい福祉社会をいかに構築していくか、学生諸君とともに追究していきたいと思っております。よろしくお願い致します。



## 藤野寛之 人間学科 Hiroyuki FUJINO



はじめまして。本学の教員に採用されました藤野寛之と申します。私は海外、とくにヨーロッパやアメリカの図書館文化史について研究しています。具体的には、図書館・情報政策や書物の歴史、図書館員の人物研究などが研究テーマとしてあげられます。一方で、コンピュータのような「新しいもの」も大好きです。

本学で、多くの学生諸君と接することで、「ともに学び」、「ともに成長して」ゆきたいと思っています。よろしくお願い致します。

## 柳 偉達 国際文化・言語学科 LIU Weida

4月より、国際文化・言語学科に着任しました柳と申します。9年前、この学科を単立ち、研究者の道歩み始めました。流通・マーケティングに関する歴史、政策とケース・スタディを中心に検討してきましたが、母校での知識蓄積が国際的な感覚を養成させ、より客観的に研究業績を上げることができました。自分の成長に適切なアドバイスをくださり、暖かく見守ってくださった母校の恩師たちに対し、心から感謝しています。

母校への恩返しを胸に秘め、時代のニーズに応える教育と研究を進めることができればと願っています。どうぞ宜しくお願いいたします。





# 支援活動

## 学期末レポート支援



大学生になって一番大切なことの一つは、正確に文章を書けるようになることです。始めのうちは一人ではなかなか書きにくいレポートも、少しずつ書けるようスタッフが適切にアドバイスをします。また、図書館との連携の下、参考文献や資料等の検索が出来るように指導します。

## サピエンチアクリスマス 点灯式



毎年12月1日の夕方に行われる点灯式。今年は宗教主事室と支援室が合同でチャペル前やタワーのライトアップ準備作業を行いました。点灯式当日は多くの学生が授業後チャペルに集まり、キャンドルサービスを行い賛美歌を歌いながら正門前に移動し点灯式を盛り上げました。

## 学園祭模擬店 杏仁豆腐&水餃子



大学祭は大学生生活の年間行事の中で、一番大きなイベントの一つです。通常、クラブ活動などを通して学生だけで参加するものですが、「学生支援室」ではスタッフと学生が一体となって模擬店を開いています。昨年は杏仁豆腐やタピオカといったデザートと水餃子などを作り、好評でした。

## サピエンチアクリスマス



本学はカトリック大学で、クリスマスは最も大切なイベントの一つです。この行事を通して一般の学生もキリスト教に触れ、クリスマスの本当の意味を考えるよい機会になっています。昨年は支援室に集う学生も参加してチャペルでの祈りの集い、学生会館でのゲームやダンス、降誕劇などを行い楽しみました。

# ボランティア活動

## JR尼崎脱線事故追悼集会 案内係



“JR福知山線脱線事故の悲しみを忘れてはならない”と市民団体（思いをつなぐ連絡会）の主催で4月25日に尼崎アルカイックホールにてメッセージ&コンサート『追悼と安全の夕べ』が行われました。当大学の学生有志も事故現場への献花、ならびに会場係のボランティアを行い、改めて事故の悲惨さを思い起こし、遺族の悲しみに共感して命の尊さを学びました。

## 国際協力の日



「国際協力の日」には、カトリック玉造教会で世界中の移住者のために祈り、献金することを目的にしてパザーや世界各国の料理、音楽が集まります。昨年のボランティア活動では、ブラジル料理の屋台や運営委員会を手伝いました。

## 環境フェスタ2006



尼崎市民環境会議が主催し、6月3日、4日の2日間、阪神尼崎駅前の中央公園芝生広場の一角で「環境フェスタ2006」が行われ、たくさんの来場者で賑わいました。英知大学生もボランティアスタッフとして参加しました。白井市長も来場され、尼崎市民の環境への関心が高まりました。

## 見守り隊 小園小学校小学生の安全を守る



見守り隊は、主に支援室に集う学生が毎週火、水、木、金曜日に大学近くの小園小学校の通学路や横断歩道に立ち、交通安全指導として活動しています。この活動を通じて地域の方や下校途中の生徒の皆さんと親しくなり、その中には大きな声で挨拶をしてくれたり、その日の出来事などを楽しくお話してくださり、大学生と小学生のよいコミュニケーションの場となっています。



### 支援室利用者からの一言！

学生支援室は、私たち学生の学習室でもあり、みんなで集える場所でもあります。スタッフの方々や様々な話をし、時には人生の勉強になるような話題で盛り上がることもあります。私自身も、この部屋で新たに学んだことはたくさんあります。人生の視野が広がりました。新入生の皆さん、是非支援室に足を運んでください。一緒に、学生生活の思い出をたくさん作っていきましょう。



### 支援室利用者からの一言！

学生支援室は友達や先輩とお喋りしたり、授業でわからないことを先輩に質問したり出来る場所です。コーヒー等も無料で飲めるので、少し時間を潰したり、友達と待ち合わせたりするのに最適な場所です。学生支援室は楽しいイベントも企画してくれるので、まだ支援室に来たことのない方や新入生の皆さんは是非利用してください。





主将  
英語英文学科1年  
川本 悠生



## 硬式庭球部

### 新入部員大募集!

練習は、月・木・土の16:30～19:00です。基礎と応用のどちらも取り入れた練習メニューをこなし、学生連盟主催の公式試合・リーグ戦、英南戦など試合にも積極的に参加しています。部室内では笑いが絶えないくらい、楽しくおもしろい部員が勢ぞろい! そんな硬式庭球部ではテニスの技術を磨くだけではありません。夏は海へ、冬はスノーボードへみんなでGO! テニスをやるときはやる、遊ぶときは遊ぶ...メリハリのあるクラブです。充実した日々を送れること間違いない硬式庭球部にあなたも入部しませんか? 主将自ら初心者ということもあって、初心者大歓迎です! 一度見学に来てください。

## 茶道サークル 新メンバー大募集!

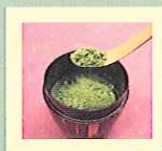
Tea ceremony



英語英文学科3年 先生 岸本富美子  
英語英文学科2年 永井裕子

お抹茶と茶菓子を一緒に楽しみませんか?

茶道・・・そう聞いて堅苦しいイメージを抱かれる方が多いと思いますが、茶道サークルではそんな心配ご無用です! やわらかい光の当たるお茶室で、初心者・経験者ともに楽しみながら練習しましょう。練習日は、水曜日の昼休みと土曜日(月2回程度)です。なんと、お茶の先生から着付けも教えてもらえる特典つき! 「総合芸術である茶道を学ぶことにより、部員相互の交流と親睦をはかる」それが茶道サークルの目的です。そんな茶道部で日本文化の教養を身につけながら楽しく仲良く、活動してみませんか。一度、是非見学にきてください!





# THE 20TH ANNUAL ENGLISH SPEECH CONTEST



第20回英語スピーチコンテストを12月14日に実施しました。ご後援いただきました財団法人日本英語検定協会をはじめご協力くださいました皆様、ありがとうございました。

国際言語教育センター 所長 山根キャサリン

## 第20回英知大学英语スピーチコンテストの審査結果について

### 第1部 優勝



英語英文学科3年  
姚 琴  
「The Present」プレゼント  
表彰：賞状、トロフィー  
副賞：図書券1万円、OXFORD英英辞典

### 第2位



英語英文学科2年  
永井 裕子  
タイトル「Moonlight」月光  
表彰：賞状  
副賞：図書券7千円、OXFORD英英辞典

### 第3位



英語英文学科2年  
松本 真季  
タイトル「Hospitality」お客様のために  
表彰：賞状  
副賞：図書券5千円、OXFORD英英辞典

### 第2部 特別賞



英語英文学科4年  
西田 裕亮  
「No More Dioxin」ダイオキシンのない世界  
表彰：賞状  
副賞：図書券5千円、OXFORD英英辞典

### 特別賞



英語英文学科1年  
大澤 萌  
「To Our Foreign Customers」外国人のお客様に  
表彰：賞状  
副賞：図書券5千円、OXFORD英英辞典

### 敢闘賞



英語英文学科3年  
増田 綾  
「Be Careful of Alcohol」お酒に注意  
表彰：賞状  
副賞：図書券3千円、OXFORD英英辞典

### 敢闘賞



英語英文学科2年  
白田 幸恵  
「A Very Very Scary Thing」恐怖  
表彰：賞状  
副賞：図書券3千円、OXFORD英英辞典

第20回という記念すべき大会に一次審査で過去最高の26名のエントリーがあり、本選には昨年より8名も多い22名が、約40名の聴衆を前に熱演を繰り広げました。本選には1年生から4年生までの学生、英文科の学生だけでなく人間学科や国際言語・文化学科の留学生も果敢にチャレンジしました。今後も、より多くの学生の参加を期待しています。



# STU CALLワークショップ/ビジネス日本語クラスの開講

「CALL」とは Computer Assisted Language Learning の略で、語学教育におけるコンピュータによる学習支援のことをいい、近年、大学はもとより、高校の語学教育にも取り入れられ始めています。

英知大学では、2005年にCALL教室を新設し、文字・音声・静止画・動画といった複数のメディアを統合的に扱う授業を展開しています。



■主催 英知大学 国際言語教育センター  
■協賛 ティエル株式会社、株式会社大塚商会



去る3月7日(水曜日) STU CALLワークショップを開催いたしました。

今回は、2部構成で第1部には本学の3名の先生方(山口忠志先生、森田由利子先生、マーティン・ウェザビ先生)による「本学におけるCALLの活用」という題での講演。第2部では、慶應義塾大学経済学部教授の境一三先生をお招きして「LMS (Learning Management System) を使用しての授業展開と協調学習」についてのご講演、及びLMSの一つである「Moodleワークショップ」を行っていただきました。コンピュータ、インターネットという科学技術を駆使しながらも、授業内外において学生とのコミュニケーションを大切にされ、語学を学ぶというだけでなく広く人生を生き抜く上でのスキルを学生たちが身につけていくように指導されている境先生の教育論に参加者がみな共感し、ワークショップの後の懇親会でも熱い話し合いが続きました。



## PROFILE

慶應義塾大学  
経済学部教授

境 一三先生

東京外国語大学、ミュンスター大学、東京大学、ベルリン自由大学でドイツ語、ドイツ文学、哲学(特に美学)、美術史などを学びました。

現在は慶應義塾大学経済学部所属しドイツ語を教えると共に、慶應義塾大学外国語教育研究センター副所長として外国語教育のさまざまなプロジェクトに参加し、研究をしています。特に関心のある分野は外国語教育政策と言語教育における情報コミュニケーション技術(ICT)です。

2004年~2005年にはNHKラジオドイツ語講座入門編を担当し、多くの方にドイツ語の魅力に触れていただくお手伝いをしました。趣味はスキーとパラグライダーですが、ここ数年は仕事に忙殺されてなかなか山に入る時間がなく、フラストレーションが溜まっています。

## 2007年4月 無料会話クラスに外国人留学生のための 新クラス開講!

☆ビジネス日本語A 水曜日 13:00~14:00

☆ビジネス日本語B 木曜日 13:00~14:00

詳細については国際言語教育センターにお問い合わせください。



講師:伊東 大輔  
英知大学大学院

宗教文化博士課程後期満期修了



## 王 智新 国際文化・言語学科 WANG Zhixin

こんにちは。この度、STUの仲間に入れていただいた王智新です。中国生まれで、中国育ちですが、日本での滞在歴は23年になります。中国の上海外国語大学に入学して、初めて日本（語）と出会いましてからは、既に35年経ちました。本学の校歌にある「白駒過隙」を実感しています。千葉大学、東京大学で教育を専攻し、教育史、特に中日教育関係史を専門に取り組んできましたが、現在では、アジア、東アジア各国の教育関係史まで発展しています。教育・研究を通じて、日本とアジア周辺各国の人々との信頼関係がいかによれば醸成できるかを考えて行動しています。これは、この地域の将来を大きく影響するもので、日本が目指す「普通の国家」になる前提でもあると確信しているからです。時には、大変な困難を伴う仕事でもありますが、平和、安定、そして繁栄な明日を夢見て、努力していきたいと思えます。よろしくお願ひします。



## 佐々木博人 人間学科 Hiroto SASAKI

みなさん、はじめまして。この春より九州の福岡県より赴任してきました佐々木と申します。私は、大学（地質学専攻）卒業後、中学校と養護学校に勤めてきました。40歳を過ぎてから、二つの大学院で発達臨床心理学、児童青年精神医学等を学びました。発達障害児（者）の世界を理解したいとの思いからです。その後、幼児教育研究所で療育を経験し、臨床心理士の資格を取ったのは50歳を過ぎてからです。

ここ英知大学で、学生の皆さんや先輩教職員の方々とともに「響育」（響きあひながら育つ）ができればと願っています。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



## 中村泰介 人間学科 Taisuke NAKAMURA

4月から英知大学に勤めることになりました中村です。専門は体育でその中でもサッカーを小学生からやっております。今は諸外国における身体動作などを研究しています。昨日の天気と今日の天気が違うように、昨日の自分と今日の自分は違います。身体を動かすことを通じて、自分のからだを知り、そして他の人と触れ合い、有意義な大学生活を過ごしましょう。授業で皆さんとお会いできることを楽しみにしています。



## マガリ・エムリ 国際文化・言語学科 Magali EMERY

Dear Readers,

My name is Magali Emery and I am the French Assistant at Saint Thomas University. I have been teaching French conversation classes at St. Thomas University since September 2006. But from now on, in addition to my conversation classes, I will be in charge of three regular classes for the first, second and third year students. I will also dedicate two hours a week to teaching beginning French to Amagasaki citizens. I am excited to teach my classes to my new students and hope they will enjoy my courses as much as I do! So, see you in my classroom!



## 小池順子 教育実習指導室 Junko KOIKE

だい分昔のことになりますが、私もこの英知大学の卒業生の一人です。4月から教育実習指導室で勤務することになり、少々あわてております。37年の教職のうち30年が幼稚園勤務でした。それはそれはかわいくて、あどけない幼児の世界にひたっておりましたから。幼児とどのように関わらせてもらえるのか、幼児の世界にどのように入らせてもらえるのか。幼児の育ちをどのように願ひ見守っていただけるのか、共に模索していけますように。どうぞよろしくお願ひ致します。



## 島村由紀 総務課 Yuki SHIMAMURA

こんにちは。このたび総務課に配属されました島村です。私はテレビ番組製作会社のアシスタントディレクター、全日制専門学校の専任教員、企業の経理・総務を経て、昨年12月に本学の一員となりました。学生の皆さんが礼儀正しく、また教職員とあちらこちらで歓談している。このような和やかな雰囲気の本学で勤務できることをとても幸せに感じています。周囲の方々の温かいお心遣いとお支援を頂き、お陰さまですっかり溶け込んで日々を過ごしております。総務課は、学校を裏から支える大切な部署の一つですので、一日でも早く習熟して円滑に業務が進められるよう頑張っていきたいと思ひます。他の部署と比べ学生の皆さんと直接かわる事は多くありませんが、気軽に声をかけていただければ嬉しく思ひます。よろしくお願ひいたします。



## 古本剛士 入試広報課 Takeshi FURUMOTO

少々髪の毛が後退しましたが1995年卒業以来、約12年ぶりに事務職員として母校に戻って参りました古本剛士です。多くの教職員の方に、私に関する悪い記憶を表面上だけでもお忘れただいているのがありがたいです。

毎年正月にサッカー部の初蹴りに参加しますが、可哀想なくらい人数とモチベーションが低下しています。彼等をはじめ、英知大学に関係する全ての人々と前進できるよう、少しずつ気力・体力を回復していきたいです。

改めましてよろしくお願ひいたします。





# 学生支援室紹介

「学生支援室」はみなさんの“可能性”を広げ“成長”を助けるために“全面的に支援”します。



学生支援室長 鳥居 一頼

支援室は、あなたのリビングルームであり、みんなが創るサロンです。泣き笑いの青春の光と陰をここに集めて、学生生活をエンジョイしませんか。あなたを熱くサポートするスタッフの面々が手ぐすねを引いて待っています！



支援室スタッフ  
(兼) 宗教主事  
松村 繁彦



学生スタッフ  
大学院 英語学英米文学専攻  
石丸 雄介



学生ボランティアスタッフ  
英語英文学科新4年生  
管 裕巳



支援室スタッフ  
(兼) 宗教主事  
徳野 愛美



学生スタッフ  
大学院 英語学英米文学専攻  
堂本 了史



学生ボランティアスタッフ  
英語英文学科新4年生  
平松 幸



支援室スタッフ  
非常勤講師  
岩川 謙一郎



学生ボランティアスタッフ  
人間学科新4年生  
畢 常青



学生ボランティアスタッフ  
人間学科新4年生  
三輪 英子



学生スタッフ  
大学院研究生 宗教文化専攻  
伊東 大輔



学生ボランティアスタッフ  
人間学科新3年生  
趙 慧



学生ボランティアスタッフ  
英語英文学科新4年生  
吉岡 幸子



支援室は学生のくつろげる空間を用意しています。お昼休みや休憩時間にお弁当を食べたり、お茶を飲みに来て下さい。コーヒー・紅茶は無料です！



支援室は図書館の下にあります。スタッフが常駐し、朝9:00～19:00までオープンしています。他に応接室もあり、個人的に話を聞いてもらうこともできます。秘密は守られます。



支援室は上級生と下級生、日本人学生と留学生が仲良く交流できる場です。友達を見つけない方や何か新しいことに挑戦してみたい方は是非支援室に来て下さい！



常時4台のパソコンとプリンターが自由に使えます。レポート作成やネット検索等に活用してください。また今年度より一般常識や就職活動用トレーニングソフトも導入予定です。



支援室で働くスタッフは皆さんにとって身近な存在です。今年度は大学の先生や宗教主事の先生をはじめ、大学院生、学部生がスタッフとして働き、皆さんの快適なキャンパスライフをサポートします。



# 学生支援室とは

## 学生支援室

「学生支援室」は大学における「リビングルーム」です。  
みなさんの可能性を広げ、人間の成長のために支援します。

学生支援室は大学の他の部署と連携しながら学生のあらゆる支援を行う部署です。常にスタッフがいて、あらゆることに対応します。必ずしも学生支援室で問題が解決するとは限りませんが、他部署にも協力を要請し、大学全体で学生をサポートするための門として利用して下さることを望んでいます。

### 学生支援室における支援五本柱

- 1 生活支援
- 2 学習支援
- 3 活動支援
- 4 精神的支援
- 5 将来への支援

#### ・生活支援

支援室にはアルバイト、学生生活、独り暮らしなどあらゆる生活に関する相談が持ち込まれます。経験豊かな先輩や教授が皆さんの悩みに光を与え、新たな展開と一緒に考え歩めるよう協力します。授業課・就職課・留学生室と協力しアドバイスができればと思います。

#### ・学習支援

大学院生や学部生の先輩、また教授がスタッフとして支援室に関わっています。皆さんの聞きたい内容に、精一杯答えていこうと学習教材の準備も進めています。試験勉強やレポート作成、日ごろの勉強についていつでも相談を受け付けています。教授陣を始め、情報科学教育センターや国際言語教育センターと協力の下あらゆる学習のレベルアップを目指します。

#### ・活動支援

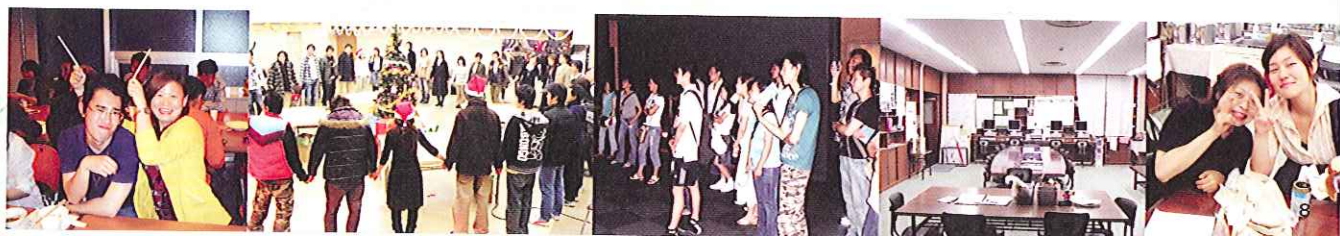
ボランティア・クラブ活動など学業以外に行いたいと望むあらゆる活動について相談に応じ、豊かな学生生活のために応援します。大学行事だけに限らず、支援室としても行事を催しながら、学生と連携をとってあたらしい可能性を探っていきたいと考えています。

#### ・精神的支援

恋愛・人間関係・病気など人間社会の複雑さに伴い、生きる人間も精神的抑圧など問題の多様化が起こっています。支援室では学生の心のケアも行っています。またミッション校として大学理念、キリスト教的精神に従い宗教的指導も行います。専門家が常駐してないこともありますが、学生相談室、保健室、宗教主事室などと連携を取りながら行っています。しかし何よりも皆さんの良き理解者・友として支援室は関わっていくことを大切にしています。

#### ・将来への支援

就職をはじめ、留学、進学、結婚など、将来への道と一緒に考え夢を切り開けるようサポートします。就職課や国際言語教育センター、大学院事務局、宗教主事室などと連携を組んで皆さんの夢の実現に協力します。





# 学生支援室行事

## 新入生歓迎お花見会

Welcome to St. Thomas University



新入生歓迎お花見会では、先輩後輩やクラブ、学科を超えて新たな出会いがあります。昨年は2回生が主体となって手作りちらし寿司やビンゴゲームを準備して新入生を歓迎しました。桜の木の下で勇気を出して話をすれば、きっと良き友や先輩が出来るはずです。

## 六甲山セミナーハウス合宿



六甲山にある大学のセミナーハウスで1泊2日の親睦会を開きました。ここでは新入生と先輩、支援室スタッフが一緒になって食事を作り、食べ、語り、遊びました。夜にはみんなで近くのケーブル駅まで歩き1000万ドルの神戸の夜景を楽しみました。今年もセミナーハウスを利用して盛りだくさんの企画を計画中です。新入生に限らず、2、3、4回生の参加もお待ちしております。

## 留学生主催 餃子パーティー



昨年は水餃子などの中国の食料品を用意し、留学生に日本人学生と教職員との交流の場を提供して、身近な国際交流体験をしていただきました。今年も支援室主催で留学生と日本人学生がお互いに文化を伝え、理解しあえるような交流の場を計画中です。ご期待ください。

## 留学生対象 日本事情見学会



大阪企業家ミュージアムへの見学は留学生の就職支援を視野に入れた企画として行いました。同ミュージアムの展示や紹介に対し、留学生たちは大変興味を示し、高い志、変化、先見性、チャレンジ精神、創意工夫、自立自助とやり抜く意思を内容とする企業家精神を理解するようになり、企業文化や商業文化をより深く意識していただけたと思います。

## 支援室利用者からの一言！



支援室は学生にとってくつろげる場です。授業と授業の合間に訪れてお茶を飲みながら友達と楽しいお話をしたり、パソコンが自由に使えるので期末のレポート作成に利用しています。また支援室を通じて学内の行事の手助けやボランティア活動も紹介してもらって、これまで知らなかった新たな世界への挑戦が出来る場所だと思います。新入生の皆さん、また在学生在でまだ支援室に訪れたことのない皆さん、ぜひ支援室に足を運んでみてください。





2007年2月26日(月)  
 10:30 開会のあいさつ 国際言語教育センター所長 山根キャサリン  
 10:35 研究発表(午前の部)開始  
 12:30 昼食  
 13:30 研究発表(午後の部)開始  
 閉会のあいさつ 国際言語教育センター所長 山根キャサリン



マーティン・ウェザビ  
Martin Weatherby  
"Using Moodle as a Supplement in the Foreign Language Education Classroom"



山根 キャサリン  
Kathleen Yamane  
"Tasks for Introducing New Topics in Content-Based Classes"



クリス・ルーデンクラウ  
Chris Ruddenklau  
"Sequencing a Story in English"



スティーブン・ライアン  
Stephen Ryan  
"Teaching the Research Cycle"



伊藤 佳世子  
Kayoko Ito  
「上級LLの授業からの一考察—データ分析からみえるもの—」



能勢 卓  
Takuji Nose  
「読解指導とサマリーの作成」



井田 規文  
Norifumi Ida  
「眠らせないために」



アンドレス・ガルシア、アリーシャ・ルグランド  
Andres Garcia, Alicia LeGrand  
"The Interactive Technologies in Teaching/Learning Foreign Languages: The Internet"



マガリ・エムリ  
Magali Emery  
"An Introduction to the Common European Framework for Foreign Languages"



松島 弘枝  
Hiroe Matsushima  
「ドラマを使っの日本語の授業」

第1回目から外国語教育に携わる教員が独自の教授法やオリジナル教材を紹介し合いながら情報、意見交換を行ってきました。そして何より本学学生のニーズに更に応えるには何が出来るかを共に模索することをこの会の大きな目的としています。

今回もこの1年を振り返り、翌年の教育目標を立て直すこの時期に、参加者全員からのオリジナリティー溢れる報告、発表を聞きとても有意義な1日を過ごすことができました。



2007年4月  
**スペイン語、フランス語会話クラスを広く  
 一般の方にも開講いたします。**

大学のキャンパスで！ 学生に戻った気分で！

本学姉妹校から派遣されたネイティブスピーカーの  
 クラスでスペイン語やフランス語を楽しく学びませんか？



**アンドレス先生のスペイン語会話**

初級1・・・4月12日（木）開講 前期13回

初級2・・・4月18日（水）開講 前期13回



	初級1 (Nivel Inicial)	初級2 (Nivel Inicial-preintermedio)
曜日	木曜日	水曜日
時間	15:00～16:00	15:00～16:00
対象	一般のみ	一般・本学学生
定員	10名	若干名
受講料	15,000円（前期13回）	
講座内容	自分のことや日本のことを説明するなど、簡単な会話ができるようになります。 ●アルファベット●名詞の性●単語ゲーム●はじめて会った人と●あいさつをする●もっと仲良くなる●心を込めた一言●簡単な会話を試みましょう	少し複雑な場面で使う会話ができるようになります。 ●感情を伝える●注意・気遣い●病気・けが・体調●家での会話●電話をかける●レストラン・ショッピング ●よく使う問いかけ

**マガリ先生のフランス語会話**

初級-a・・・4月18日（水）開講 前期13回

初級-b・・・4月12日（木）開講 前期13回



	初級-a (Niveau initiation)	初級-b (Niveau initiation)
曜日	水曜日	木曜日
時間	15:00～16:00	15:00～16:00
対象	一般のみ	一般のみ
定員	10名	10名
受講料	15,000円（前期13回）	
講座内容	初級-aと初級-bは同じ内容です。 この入門講座は、学習者にフランス語の最も初歩的な基礎を習得していただくことを目的としています。 それぞれの授業は簡単な会話で、日常生活に必要なコミュニケーション能力の習得を目指しています。 補足的な練習問題を各授業終了時に配布いたします。 ●アルファベットと発音●挨拶し、自己紹介する●家族と趣味について話す●対象を示し、位置づける●時間を尋ねる●道を探ねる●買い物をする●レストランで注文する●天候について話す	

**お申込み方法**

定員の都合上、受講可能かどうか国際言語教育センターにて確認後、申込用紙（本学ホームページからダウンロードも可）に必要事項を記入し総財務課経理で受講料を支払い、申込書同センターに提出してください。

— お問い合わせ先 —

英知大学 国際言語教育センター  
 〒661-8530 兵庫県尼崎市若王寺2-18-1  
 TEL:06-691-8599 FAX: 06-6491-5433  
 Email : silec@sapientia.ac.jp



英知大学図書館では、地域に開かれた学びと交流の場として、市民の方がたと共に「地域でつくる平和と共生」連続トークフォーラムを開催いたします。

尼崎にクラス、ゆかりのある、さまざまな経験をもったお年寄り、福祉や国際交流の現場でお仕事をされている方などのお話を聞き、地域で、地域から平和と共生を考え、英知大学学生・教職員と共に、学び合う場をつくりたいとおもいます。

家事やお勤め、お食事後のひととき、身近なところにあるながら、ふだんの暮らしではあまり聞くことのできない昔がたりや現場の悩みや喜びに耳をかたむけ、話し合ってみませんか。みなさまのご来場をお待ちしております。



会場：サビエンチアタワー5F 演習室  
 参加費：500円（資料代等）  
 英知大学学生は無料  
 どなたでも参加できます  
 （事前の申込みは不要です）  
 ☆当日は記録DVD用にビデオカメラの撮影も行ないます

### 第1回フォーラム

## 「沖縄戦を生きのびて ～白梅学徒隊の ひとりとして」

日時：5月24日（木）  
 午後6時30分～8時30分  
 語り手：比嘉光子さん  
 （沖縄県立第二高等女学校白梅同窓会員  
 特別養護老人ホーム園田苑入居者）  
 聞き手：森 宣雄 先生  
 （英知大学文学部准教授）

### 第2回フォーラム

## 「ハンセン病と 人間回復」

日時：6月21日（木）  
 午後6時30分～8時30分  
 語り手：川島 保さん  
 （ハンセン病回復者）  
 聞き手：中村大蔵さん  
 （特別養護老人ホーム園田苑施設長）

### 第3回フォーラム

## 「阪神教育事件と 多文化共生教育 の未来」

日時：7月26日（木）  
 午後6時30分～8時30分  
 語り手：李 南順さん  
 （小中島在住 在日コリアン1世）  
 聞き手：崔 博憲先生  
 （英知大学非常勤講師）

## 秋からの予定

地域の福祉  
 イスラム世界の戦争と平和  
 フィリピン従軍「慰安婦」  
 濟州島四・三事件  
 日中韓3国共通歴史教材

などについてフォーラムをひらく予定です。



本年度のキリスト教文化研究所主催のカトリック研究講座が以下のようになりました。ふるってご参加ください。

# 第36回カトリック研究講座

テーマ「カトリック神学の基本」そのⅢ

I. 霊性神学のとほどき	英知大学大学院教授 ボナツィ・アンドレア	4月10日、17日、24日
II. ヨーロッパ中世における人々の生活と文化	英知大学非常勤講師 北川 朋子	5月1日、8日、15日
III. キリシタン宣教と殉教について	英知大学大学院教授 東京大学名誉教授 五野井 隆史	5月22日、29日、6月5日
IV. キリスト教文化の常識Ⅱ	英知大学教授 石黒マリーローズ	6月12日、19日、26日
V. 正義の預言者アモス	英知大学非常勤講師 スック・G・パオロ	7月3日、10日、17日
VI. グノーシスの救済論 ～古代ヘレニズム世界の宗教思想～	英知大学准教授 竹田 文彦	9月25日、10月2日、9日
VII. キリスト者となる歩み	英知大学学長・教授 小田 武彦	10月16日、23日、30日
VIII. 神の愛と人間	英知大学客員教授 高木 慶子	11月6日、13日、20日
IX. キリスト教聖空間創出 ～ロマネスク教会堂とゴシック大聖堂～	英知大学客員教授 川久保 輝興	11月27日、12月4日、11日
X. カトリック哲学の展開	英知大学名誉教授・客員教授 東京大学名誉教授 今道 友信	1月8日、15日、22日

- ◆日時 上記の火曜日 午後6:00～7:30
- ◆場所 カトリック北野教会（大阪市北区豊崎3-12-8）
- ◆受講資格 どなたでも受講できます。
- ◆お申込方法 講義当日に受付で所定の申込書にご記入のうえ、受講料を添えてお申し込みください。

- ◆受講料 1年分（10講座30回）前納の場合 13,000円
- 1講座（3回） 受講の場合 1,600円
- 1講義（1回）のみ受講の場合 700円

※受講者がテープをとるときは、その都度別途900円を申し受けます。

- ◆お問合せ先 英知大学 キリスト教文化研究所 カトリック研究講座係 Tel 06(6491)5000（代）



主催 英知大学 キリスト教文化研究所

※英知大学は2007年5月27日より聖トマス大学に名称を変更いたします。



Microsoft Office Specialist※資格取得講座 (Word2003) を、2月7日より8日間の日程で開講しました。19名が受講し、90%の合格率を達成しました。過去 Excel を中心に実施してきましたが、今回初めて Word 編を実施するということもあり、申込み開始から数日で定員に達するという人気ぶりでした。毎回、就職活動直前になって申し込みにくる学生が多いのですが、今回は定員超過の為参加できなかつたり、都合がつかず受講を見送つたりと受講したいという意思はあるにもかかわらず、参加できない学生が多く見受けられました。1年生のうちから早めに受講し、色々な資格を取得しましょう！次回は、夏休みに Excel2003 を実施する予定です。

※ Microsoft Office Specialist とは、Microsoft 社公式認定資格です。



山口直美 国際文化・言語学科3年  
(Excel2003、Word2003 資格取得)

パソコンが苦手な私が、約1週間という短期間の講習会で『Excel』、『Word』の試験に合格出来たのは何故か？それはこの講習会の進行方法、“短期集中”

“スピード” “反復”にあるのだと思います（千田式攻略法とでもいうのでしょうか？）。はじめは厳しいものに思えた講習会ですが、続けていくうちにパソコンへの理解度が上がり、操作に慣れていくのが自分でもわかりました。わからないことはその場で理解できるように教えていただけるので、試験合格を目指すことはもちろん、私に、よりパソコンについて知りたいと思わせる講習会でした。次の講習会があれば是非受講したいと思いますし、また他の学生にもお勧めします。



神原生望 英語英文学科3年  
(Word2003 資格取得)

私は Microsoft Office Specialist (Word2003) 講座を受けて大変満足しています。私はこれまで資格にあまり関心がなく、資格をとる機会もありませんでした。しかし、今回大学側で、パソコン資格が取れると言うことで何となく申し込みました。この事が後々大変自分にとって良い機会に繋がりました。

最初の方はなかなか操作の仕方が覚えられなくて不安でしたが、3日…4日…と先生のアドバイスを受けたり、模擬試験を受けていくうちにパソコンの操作が頭に入ってきました。そして、応用ができるにつれて楽しくなっていき、自信もできました。試験日には、初日不安だった気持ちとは反対に冷静に問題をこなし、合格することができました。そして、この事をキッカケに次は Excel に挑戦したいと思います。短期間通うだけでいいですし、値段も手頃なのでみなさんにもぜひオススメしたいです。



増田絢子 英語英文学科3年  
(Excel2003、Word2003 資格取得)

機械音痴の私にとってパソコンはかなりの苦手意識があり、キーボードに触れることすらほとんどありませんでした。しかし、これからますます IT 化が進む時代。そうは言っていられないな、と思い Excel 資格取得にチャレンジしようと思い、講習会に参加することを決めました。全くの初心者なのに講習会についていけるか、とても不安でした。しかし先生の丁寧な指導、すぐに質問できる環境で着実にスキルを身に付けることができました。その後、Word 資格取得にもチャレンジし、無事合格することができました。この経験だけにとどまらず、パソコンの利便性をこれからも生活の中で活用していきたいと思っています。





参加して本当によかったです。何よりも下地に時間をかけ丁寧に仕上げていくことに驚きました。出来上がりの印象はぱっと明るくなった感じで気がうきうきしました。

2007年1月23日(火曜) サピエンチア・タワー10階にて

いよいよ就職活動本番の季節になってきましたね。女子学生の皆さんにとってより良い就職活動を行っていただくためにプロの先生をお招きしてリクルート・メイクアップ・セミナーを開催しました。

学生は企業を選んでもらう弱者の立場ではなく、企業と学生はお互いに選ぶ権利がある対等な立場であり、メイクはそのために自分にあった演出をする一つの手段であるというお話が印象的でした。

実際に3年生の女子学生にモデルとなってもらい、メイクの実演も行っていました。

協力 **スタジオ クライム**

**STUDIO CLIMB!**

履歴書・エントリーシート添付用証明写真をナチュラルなヘアメイクをして撮影してくれます。採用担当者に好感をもってもらうための一助となるでしょう。

詳しくは就職課までお問い合わせください。



<http://st-climb.co.jp>

tel:06-6244-4344

## 卒業生の就職体験談を聞く

国際言語教育センターと就職課が初のコラボ企画として「先輩体験座談会」を開催しました。

本学仏文科を卒業後、現在海外に在住し、外資系航空会社で勤務している高須さんを迎え、外国語を活かした就職のノウハウや、準備するべき事柄などをわかりやすく話していただきました。当日は4年生の先輩も交え、活発な意見交換が行われました。目標の就職先に就くためには、行動力が必要であると改めて感じました。



航空会社勤務  
ニューカレドニア在住  
高須将勝





# 第2回 尼崎市国際交流協会 日本語スピーチコンテスト

2007年2月10日(土) 尼崎市国際交流協会主催第2回日本語スピーチコンテストが本学サピエンチアタワー10階にて開催されました。

本学からは 畢 常青(人間学科)と 崔 海花(国際文化・言語学科)が参加し将来の夢についてのスピーチを発表しました。参加者の中には民族衣装をまとった人もいて会場はとても華やかな雰囲気でした。スピーチの終了後、外国人学生たちによる日本舞踊、お琴の演奏と日本文化を学んだ成果が披露され見学に訪れた人々を楽しませてくれました。



優勝  
産業技術短期大学  
金 基浩(キム・キホ)

この優勝は自分だけのものではなく、みなさんのものだと思います。私の周りにおいて支えて下さったみなさんに本当に感謝しております。

主催 英知大学 産業技術短期大学 園田学園女子大学(社) 日本国産生



崔 海花さん



英知大学 邦楽英華会

園田学園女子大学 創舞研究会



多くの方が応援にかけつけてくれました。学内コンテストとはまたひと味ちがう会場の光景です。



真剣な表情で留学生たちの夢や思いに聞き入ってくれました。



第2回 尼崎市国際交流協会  
日本語スピーチコンテスト

畢 常青さん、出場者たちはスピーチが終わると司会からするどい質問を浴びせられもう一汗かくこととなります。そのやりとりに会場から笑いがこぼれます。



受賞者を囲んでの記念撮影。



# 英知大学 留学生フォーラム



## 留学生フォーラムの概況

本学教学部留学生室と学生支援室をはじめ、各関係部署のご協力をいただき、2006年英知大学留学生フォーラムは無事に開催することができました。

フォーラムでは、在大阪中国領事館の教育担当領事は実例を挙げながら、中国人留学生の留学生活とマナーについて講演しました。日本人材情報業界最大手のリクルート社に長年勤務し、留学生の就職事情に詳しい白井政彰氏は就職活動の進め方と日本企業の求める留学生人材像について語りました。千葉県在住の本学卒業生(1998年卒)の張倩蓉さんは母校に駆けつけ、自らの就職体験を後輩に伝えました。本学卒業生(2004年卒)の董雲さんは大学院進学について詳細に説明しました。さらに、日中両国の事情に詳しい日中経済貿易センター理事長の青木俊一郎先生は本学を訪れ、長年の経験と豊富な知識に基づき、日中経済交流の歴史を振り返りながら、中国人留学生への期待を込めて日中関係の新たな発展を訴えました。各講師の講演に対し、留学生はノートを取ったり、質問したりして、日中関係の動向や卒業後の進路について大きな関心を示しました。

講演会後の懇親会では、留学生は講演者や教職員と歓談し、留学の目的と今後の進路をより真剣に考えるようになったと思われる。



日中経済貿易センター理事長  
大阪府日中友好協会副会長

青木 俊一郎 氏



在大阪中国総領事館  
領事・教育担当

李 茂森 氏



極東サ  
総務・経理及び  
海外窓口担当

張 倩蓉 氏



関西学院大学大学院  
商学研究科  
博士課程前期課程

董 雲 氏



## 参加した留学生の感想

- 講演を聴いて、本当に素晴らしかったと思います。自分の不足や弱点などがはっきり分かりました。自分の人生観も変わりました。自分の人生をもう一度考えなければならぬと思いました。
- 大学では、ただ知識を勉強するのではなくて、人間関係や人生の目標なども身につけなければなりません。特に私は留学生です。日本の法律や規則を守って、日本語が上手になった上に、異文化、異国の理念を頭に入れてないと、日本に留学してくる意味もないと思いました。
- 自分の人生を振り返ってみることができた。また、将来の人生について計画し、準備する必要があることに気づいた。どのように生きるべきか、どのように自分を磨いていくべきかなどを考えるようになった。等



# 人事異動

2007年3月1日付

総財務部長の職を免ずる  
(現理事のまま総財務担当) 田中 功

教学部長の職を免ずる 竹田 文彦

就職部長の職を免ずる 岡崎 臣博

## 昇任

事務局長  
(学長事務室長兼務) 刈屋 悌二

総財務部長(総財務部次長) 玉手 康雅

## 任命

教学部長 藤木 隆義

就職部長 川端 成監

## 事務職配置換(カッコ内は旧所属)

教学課付課長(就職課長) 藤原 正嗣

入試広報課主任(教学課主任) 今村 圭吾

教学課主任(総財務課主任) 宮崎 真理

## 採用

総財務課 鳥村 由紀

入試広報課 古本 剛士

2007年3月31日付

## 退職

教授 高木 慶子  
教授 川久保 輝興  
助教授 金 貴禮  
助教授 花野 俊昭  
助教授 郡司 良夫  
入試広報課 上遠野 大介  
労務職員 末次 昭子

2007年4月1日付

## 教員採用人事

教授(人間学科) 鳥居 一頼  
教授(国際文化・言語学科) 王 智新  
准教授(人間学科) 李 相濟  
准教授(同上) 佐々木 博人  
准教授(同上) 本多 千明  
助教(同上) 中村 泰介  
助教(同上) 藤野 寛之  
助教(同上) 池田 浩  
助教(国際文化・言語学科) 柳 偉達  
助教(同上) マガリ・エムリ

## 教員昇任人事

准教授(英語英文学科) マーティン・ウェザビ

## 海外研修

准教授(国際文化・言語学科) 武田 裕紀  
(2007年9月30日まで)

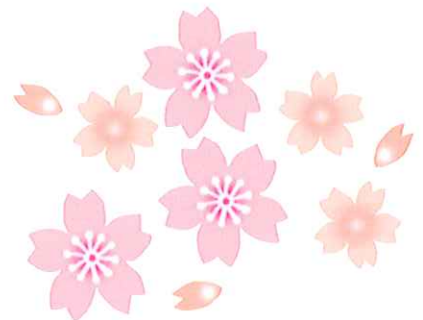
## 事務職員採用人事

入試部長 中原 道夫  
宗教主事 松村 繁彦  
教育実習指導室(教学部) 小池 順子

## 教員役職人事

学長補佐(入試部担当) 松本 信愛  
人文科学研究科長 大沼 雅彦  
キリスト教文化研究所長 アンドレア・ボナツィ  
人文科学研究科専攻主任 アンドレア・ボナツィ  
(宗教文化専攻)  
人文科学研究科専攻主任 井勢 健三  
(英語学英米文学専攻)  
人間学科長 松本 信愛  
英語英文学科長 谷 眞嗣  
国際文化・言語学科長 芥川 眸  
キリスト教文化コース主任 ヴィセンテ・アリバス  
総合人間学コース主任 奥村 和滋  
スペイン語圏コース主任 山口 忠志  
フランス語圏コース主任 芥川 眸  
アジア研究コース主任 松本 耿郎  
日本研究コース主任 松本 耿郎  
教職課程主任 奥村 和滋  
図書館長 松本 耿郎  
情報科学教育センター所長 山口 忠志  
国際言語教育センター所長 山根 キャサリン  
人文科学研究室長 沼野 元義  
国際言語研究室長 ステイーブン・ライアン  
留学生室長 藤木 隆義  
学生支援室長 鳥居 一頼  
学生相談室長 佐々木 博人  
国際言語教育センター副所長 ステイーブン・ライアン  
国際言語教育センター副所長 武田 裕紀

以上



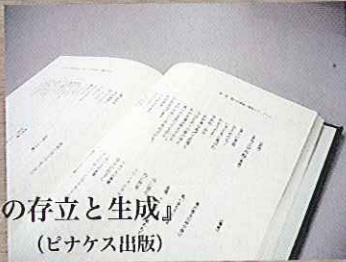


# 今道先生 和辻文化賞 ご受賞

美の存立と生成

このたび本学名誉教授 今道友信先生が姫路市から 第19回和辻哲郎文化賞 (学術部門) を2月5日受章されました。

和辻哲郎文化賞は1988年、兵庫県姫路市が市制百年記念と和辻哲郎生誕百年を記念して創設した学術賞。一般部門と学術部門に分かれる。かつて司馬遼太郎が選考委員を務めた。正賞の「嵯絵源氏絵千姫羽子板」と副賞100万円などが贈られた。



受賞作品『美の存立と生成』  
(ピナケス出版)

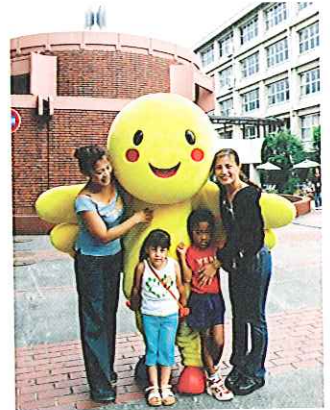


## Cum Amore フットサル大会

2007年1月28日(日)  
9:00~16:00  
英知大学 体育館にて

尼崎市在住の在日ブラジル人及び日本人を中心としたメンバーによるフットサル大会を開催。10チームが参加し、計24試合が行われ、Yonait Bが優勝しました。

阪神間に暮らす市民、企業、行政職員などで活動しているCum Amore(クム・アモーレ)は、ブラジル、ペルー、フィリピンにおける、身寄りのない子どもたちが暮らす施設に日本から物資や資金を送り、その健やかな発育を支援しています。本事業の試合参加費および飲食物の販売による収益を、チャリティとしてアモレイラあけの星(ブラジル)、パチャクッテ村(ペルー)、イースタービレッジ(フィリピン)の3施設に寄付することを目的としています。



### 行事予定

5月	10	卒論申込み締切り
	26	第43回学内TOEICテスト
	27	大学名称変更式典
	31	入試説明会
6月	28	大学院入試説明会
7月	2,3	コース登録期間(1年)
	12	第8回型トマス大学 スペイン語・フランス語合同暗誦大会
	22	オープンキャンパス
8月	4	第44回学内TOEICテスト
	5	オープンキャンパス
	8	第5回学内TOEFL ITPテスト
	11	オープンキャンパス
	12-18	夏期休暇(教職員)
	26	オープンキャンパス
	末	海外研修旅行団出発

### 編集

発行 2007年4月  
編集長 玉手康雅  
発行者 小田武彦  
発行所 英知大学  
〒661-8530兵庫県尼崎市若王寺2丁目18-1  
06-6491-5000(代)

EMAIL info@sapientia.ac.jp  
URL http://www.sapientia.ac.jp/

本書の内容の一部あるいは全部を無断で複製(コピー)、複製、磁気や光記録媒体あるいは全ての媒体への入力をお断りします。

※英知通信第99号、文中に記載の学年は旧学年です。